

注意報第4号

各関係機関団体の長  
各病虫害防除員  
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

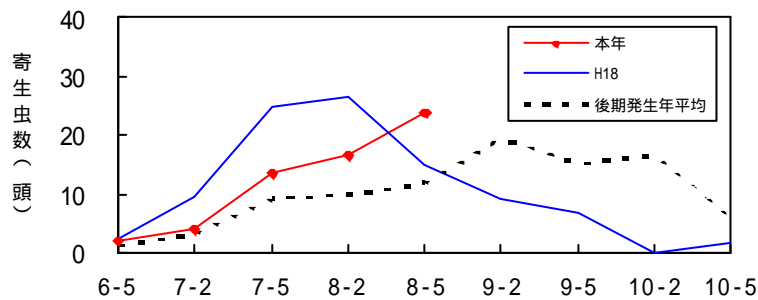
平成20年度病虫害発生予察注意報第4号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第4号を発表したので送付します。

果樹共通

- 1 対象作物：果樹全般（カキ、カンキツ、ナシ等）
- 2 **病虫害名：果樹カメムシ類（チャバカメムシ、ツアカメムシ、クサカメムシ）**
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生量：平年・前年より多
- 5 飛来時期：9月1日頃（県南地域（筑後農林管内）は既に飛来）
- 6 注意報の根拠

（1）県下27か所における8月5半旬のヒノキ球果のビ－ティング調査では、寄生虫数（主要3種）は平均23.8頭（後期発生年の前7か年平均 11.9頭、18年 14.9頭）と後期発生年の前7か年平均より多く、近年に多発した平成18年の最盛期（8月2半旬 26.7頭）並である。

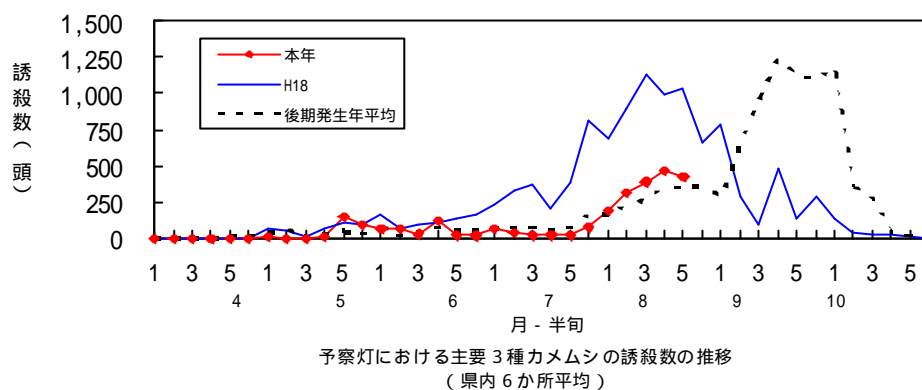


ヒノキのピーティング調査による主要3種カメムシの寄生虫数の推移

(2) 県下27か所における8月5半旬のヒノキ球果の口針鞘数調査では、口針鞘数は平均16.9本であり、カメムシ類がヒノキから離脱する目安とされる25本に近づいている。

特に、県南地域の口針鞘数は、平均27.1本と離脱する目安とされる25本を超えており、ヒノキ球果における寄生虫数は平均22.4頭(8月2半旬 31.2頭)と減少し、果樹園への飛来が増加している。

(3) 県下6か所の予察灯における8月1～5半旬の主要3種カメムシの平均誘殺数は1,789頭(後期発生年の前7か年平均 1,362頭、18年 4,731頭)と後期発生年の前7か年平均よりやや多く、8月以降増加傾向にある。



(4) 8月中旬以降、かきやかんきつ園で加害による落果が発生している。

## 7 防除上の注意

(1) 果樹園への飛来が始まっている。園ごとに園内外をこまめに見回り、早期発見に努める。カメムシ類は広範囲に移動するため、防除は広域一斉が高効果が高い。

(2) 薬剤散布に当たっては、極力風の無い時を選ぶとともに、風向きに注意する。また、適正な散布圧で、飛散の少ないノズルを使用する等周辺作物への飛散防止の徹底を図る。

(3) 防除に当たっては、農薬使用基準(適用作物、使用量、希釈倍数、使用時期、総使用回数)を厳守する。

(4) 最新の果樹カメムシ類の発生状況については、病害虫防除所ホームページを参照のこと。

表 ヒノキ球果の口針鞘数及びヒノキのピーティング調査によるカメムシ類の寄生虫数

調査時期：8月5半旬

調査場所	口針鞘数調査		ピーティング調査(頭)														3種の合計	
	ヒノキ球果		チャバネアオカメムシ								ツヤアオカメムシ			クサギカメムシ				
	被害球果率(%)	口針鞘数(本)	成虫数	幼虫数					計	成虫数	幼虫数	計	成虫数	幼虫数	計			
			1令	2令	3令	4令	5令	計										
本所管内	宗像市山田	95	15.0	9	0	0	2	1	0	3	12	0	0	0	0	0	0	12
	前原町高祖	100	9.7	7	0	0	0	0	0	0	7	2	0	2	0	0	0	9
	古賀市青柳	100	14.1	3	0	0	0	2	0	2	5	4	3	7	1	0	1	13
	久留米市田主丸町益生田	100	12.6	5	0	0	0	1	2	3	8	17	1	18	1	0	1	27
	久留米市田主丸町森部	100	16.9	28	0	0	0	1	1	2	30	24	1	25	1	0	1	56
	うきは市浮羽町小塩	100	17.1	40	0	0	0	0	0	0	40	13	0	13	0	0	0	53
	朝倉市柿原	100	16.9	9	0	2	1	1	1	5	14	4	3	7	0	0	0	21
	朝倉市屋形原	100	29.2	15	0	3	4	0	2	9	24	30	10	40	3	0	3	67
	朝倉市宮野	100	28.2	8	0	0	0	3	0	3	11	4	0	4	0	0	0	15
	朝倉市須川	100	6.5	12	0	0	0	1	1	2	14	3	3	6	0	0	0	20
	朝倉市杷木町志波	100	21.0	12	0	4	3	1	1	9	21	3	17	20	0	3	3	44
	庄内町入水	100	4.1	3	0	2	9	1	0	12	15	16	6	22	0	0	0	37
	平均(12か所)	99.6	15.9	12.6	0	0.9	1.6	1.0	0.7	4.2	16.8	10.0	3.7	13.7	0.5	0.3	0.8	31.2
筑後支所管内	大牟田市上内	100	31.4	11	0	2	3	5	3	13	24	1	3	4	1	0	1	29
	八女市宅間田	100	29.4	0	0	0	0	0	3	3	3	5	0	5	0	0	0	8
	みやま市山川町立山	100	24.7	15	0	0	0	3	2	5	20	3	3	6	0	0	0	26
	立花町白木	100	20.0	9	0	0	2	2	1	5	14	15	1	16	0	0	0	30
	立花町飛形山	100	26.5	21	0	1	3	7	5	16	37	10	2	12	1	1	2	51
	黒木町野山	100	19.0	20	0	1	2	0	1	4	24	0	0	0	0	0	0	24
	黒木町今	100	26.1	8	0	0	0	0	0	0	8	2	2	4	0	0	0	12
	黒木町本分	100	40.2	0	0	2	5	3	1	11	11	0	0	0	0	0	0	11
	広川町梯	100	26.9	6	0	0	0	0	3	3	9	1	1	2	0	0	0	11
	平均(9か所)	100.0	27.1	10.0	0	0.7	1.7	2.2	2.1	6.7	16.7	4.1	1.3	5.4	0.2	0.1	0.3	22.4
行橋支所管内	岡垣町上畑	100	4.6	9	1	0	0	1	0	2	11	6	0	6	1	0	1	18
	岡垣町戸切	85	5.7	8	0	4	0	0	0	4	12	9	0	9	0	0	0	21
	みやこ町犀川町木山	80	2.9	12	0	0	0	0	0	0	12	1	0	1	0	0	0	13
	上毛町唐原	95	5.1	1	5	0	0	0	0	5	6	0	1	1	0	0	0	7
	築上町寒田	75	2.7	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2
	築上町本庄	35	0.8	2	2	1	0	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	5
平均(6か所)	78.3	3.6	5.3	1.5	0.8	0	0.2	0	2.5	7.8	2.7	0.3	3.0	0.2	0	0.2	11.0	
平均(27か所)	95.0	16.9	10.1	0.3	0.8	1.3	1.2	1.0	4.6	14.7	6.4	2.1	8.6	0.3	0.1	0.5	23.8	
福岡農林管内平均	98.3	12.9	6.3	0	0	0.7	1.0	0	1.7	8.0	2.0	1.0	3.0	0.3	0	0.3	11.3	
朝倉農林管内平均	100	18.5	16.1	0	1.1	1.0	1.0	1.0	4.1	20.3	12.3	4.4	16.6	0.6	0	1.0	37.9	
飯塚農林管内平均	100	4.1	3.0	0	2.0	9.0	1.0	0	12.0	15.0	16.0	6.0	22.0	0	0	0	37.0	
筑後農林管内平均	100	27.1	10.0	0	0.7	1.7	2.2	2.1	6.7	16.7	4.1	1.3	5.4	0.2	0	0.3	22.4	
八幡農林管内平均	92.5	5.1	8.5	0.5	2.0	0	0.5	0	3.0	11.5	7.5	0	7.5	0.5	0	0.5	19.5	
行橋農林管内平均	71.3	2.9	3.8	2.0	0.3	0	0	0	2.3	6.0	0.3	0.5	0.8	0	0	0	6.8	
後期発生年の前7か年平均	68.1	9.3	4.8	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	5.2	10.0	0.9	0.6	1.5	0.2	0.1	0.3	11.9	
H19	90.0	15.5	1.3	0.3	0.6	0.4	1.0	0.6	2.8	4.0	0.3	1.0	1.3	0.1	0	0.1	5.4	
H18	98.2	19.1	8.6	0	0.2	0.4	1.1	1.7	3.3	11.9	2.1	0.7	2.7	0.1	0.1	0.3	14.9	

注1 口針鞘数調査は1地点当たり20球果、口針鞘数は20球果の平均

注2 ピーティング調査は、1地点5枝、1枝当たり5回のたたくき落としで、その合計虫数

注3 チャバネアオカメムシの卵から次世代の成虫になるまでの期間は、夏期の温度では約30～40日